



大切な忘れ物



ppuro



ふかふかの土の上でたくさんの種たちの
たのしそうな、声がきこえてきます。

何かいいことがあったの？

うん これからね きれいな花になるの
そしたらね みんな幸せになるの



お花か それはたのしい

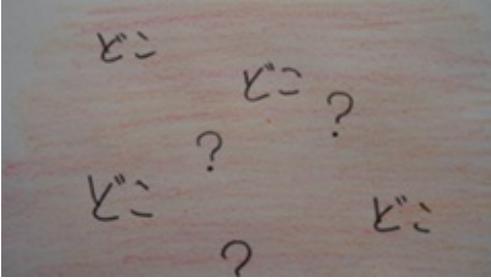
ね

うん とっても うきうき わくわくだ
よ

ね～～みんな

あなたは だれ？どこにも見えないけど？

ぼくかい いつもそばにいるよ！



だれもいないよ??

君たちが吸っている”くうき”だよ

エー ぼくたち すってるの？ エーたいへんだ



ぱんぱんの風船になっちゃう
お花になれない

どうしよう たいへん

あ・ははは、あ・ははは、面白い、笑いすぎて
どうかなりそう

だって・・・すったら ふくらむよ パンパンに

だいじょうぶだよ ぼくは体の中を通り 又外に出るからね
あ～～良かった でもそしたら 又ぼくたちすっちゃうね！

外に出たぼくは 前のぼくと違って出てくるから

もう すえないよ

すご～～い へんしんするんだ ぼくたちと いっしょだね
へんしんした くうきさんは どこいくの？

山にある木がすってくれるんだ そしたら あたらしい

ぼくに なって 又外にでるんだよ

そうか いつもそうして ぼくたちの そばにいてくれるの？

うん

”ありがとう”くうきさん

あ・・・久しぶりに あたたかい”ありがとう”

の言葉きいたよ

ふーん そうなんだ

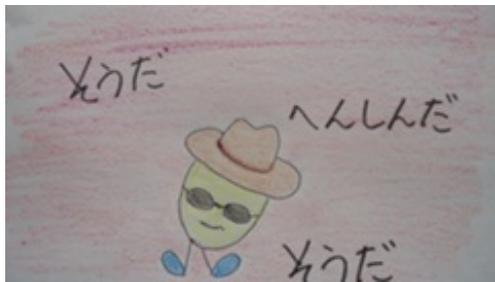
ぼくは あって 当たり前だと 思われてしまってね

感謝のきもちが伝わってこないのさ

それでも 昔はあたたかい気持ちが

かんじられたんだけどね

じゃあ へんしんして みえるようになればいい



あ・ははは それは むりだよ
あ・そうか みえたら すえない
こまったな～～

大切なものは みえないものなんだよ うれしいきもちも
みえないだろ?でもとても大切なもの 感じ取る事は
できるよ

うん わかった あったかい気持ちになるよう 咲くからね
見ていて くうきさん

ありがとう

あのね ぼくたち くうきさんの事 わすれないよ



大切な友達だから きれいな花になるから 見ていてね

あたりいちめん さわやかな かぜが通りすぎます
あるのが あたりまえ いいえ ほんとうに大切な物
ほど 見えていない所にあります

大切な忘れ物

<http://p.booklog.jp/book/37594>

著者 : ppupo

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/ppupo/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37594>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37594>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.